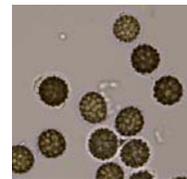


コムギなまぐさ黒穂病菌を減らすには

水田化による低減効果と堆肥化の死滅温度

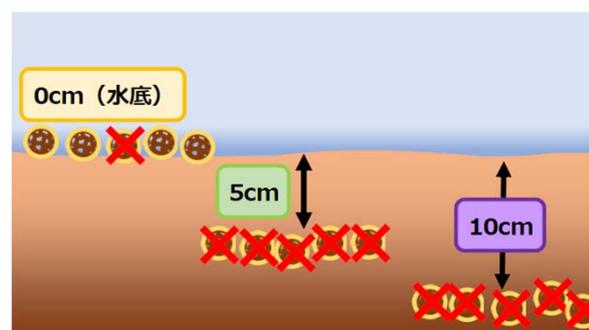
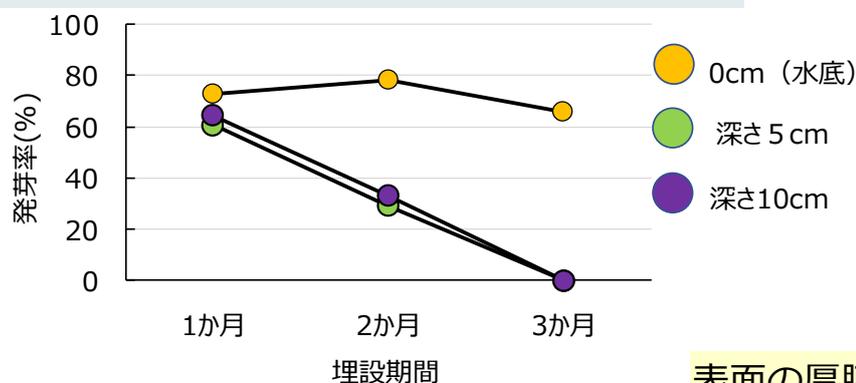


概要 Abstract

- 水田化は、なまぐさ黒穂病の厚膜胞子の密度低減に有効です。
- 堆肥化する際の厚膜胞子の死滅温度は、40℃10日、50℃3日、60℃1日です。

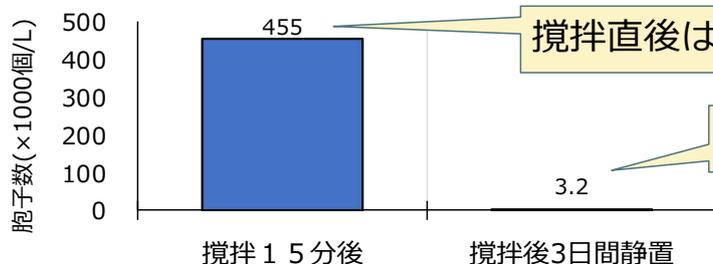
成果 Results

○水田化すると、土の中の厚膜胞子が減ります



表面の厚膜胞子は残るので注意してください

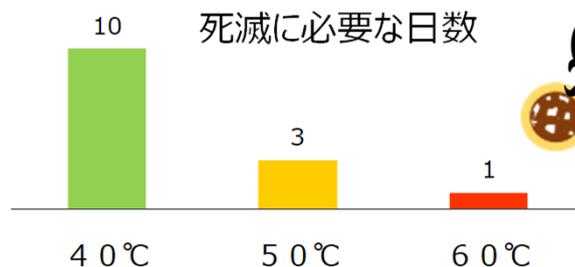
○水を落とすときは土が沈んでから



攪拌直後は厚膜胞子が水とともに流出

土が沈んで水が澄んでいれば流出はわずか

○堆肥化の死滅条件は40℃10日、50℃3日、60℃1日です



普及 Dissemination

- 本対策を行った場合でも、小麦を栽培する際には適切な防除対策を実施してください（R3年・普及推進事項）。
- 本成果を反映した「コムギなまぐさ黒穂病 Q & A」の完結版を令和4年2月に公表しました。
- この研究は J A グループ 北海道「北海道産麦生産流通安定対策事業」の支援を受けて実施しました。

連絡先 Contact

中央農業試験場
 病虫部 予察診断グループ
 0123-89-2001
 central-agri@hro.or.jp